

令和4年度 久留米市文化芸術振興審議会 第1回会議（要旨）

1 開催日時

令和4年7月7日（木）11時～12時05分

2 会場

久留米市美術館 本館1階多目的ルーム1

3 出席委員（50音順） ※9名

井原委員、内野委員（副会長）、翁委員、木藤委員（会長）、日下部委員、曾山委員、西依委員、前原委員、矢次委員

4 欠席委員 ※2名

片山委員、中園委員

5 事務局 ※14名

市民文化部 竹村部長、深堀次長

文化振興課 大鶴課長、中山課長補佐、中園主査、藤本主任主事

久留米シティプラザ事業制作課 平木課長

久留米シティプラザ総務課 末次課長補佐

文化財保護課 水島課長

市民文化部総務 國武主任主事

公益財団法人久留米文化振興会 西村常務理事兼事務局長

企画広報課 古賀課長

総務課 船津課長

園内魅力推進課 眞子課長（美術館総務主幹兼務）

6 議事次第

1 開会

2 委員紹介

3 会長、副会長選任

4 会長、副会長挨拶

5 議題

（1）久留米市文化芸術振興基本計画における各事業の実績及び計画について

（2）令和4年度市政アンケートモニター「くるモニ」の調査項目について

6 その他

7 閉会

議事録

1 開会

- 事務局より、過半数の委員が出席しており、会議が成立していることを報告。

2 委員紹介

- 各委員を紹介。(片山委員、中園委員は欠席)
事務局(久留米市及び(公財)久留米文化振興会の担当者)を紹介。

3 会長、副会長選任

- 会長に木藤委員、副会長に内野委員を選出。

4 会長、副会長挨拶

- 木藤会長及び内野副会長より挨拶。

5 議題

(1) 久留米市文化芸術振興基本計画における各事業の実績及び計画について

- 事務局より資料 1、2 に基づき、久留米市文化芸術振興基本計画における各事業について、令和 3 年度の実績及び令和 4 年度の計画を説明。

質疑

○ 矢次委員

- ・ 石橋文化ホールが開館 50 周年を迎えた時、文化センターの 50 周年記念ホームページに、音響設計に携わった中島平太郎氏のロングインタビューが掲載されていた。当時の設計者の思いなどを知ることが出来る、とてもいい内容だったと思うが、また見ることが出来るようになるのか。来年はホール 60 周年になると思うが、こうした取り組みはまた計画されるのか。

● 事務局

- ・ 石橋文化ホールは 1963 年 5 月に開館し、来年の令和 5 年度に 60 周年を迎える。2013 年の開館 50 周年の時は、特設 HP を作って、中島氏の音響設計への思いなどを掲載した。そうした内容を、次の開館 60 周年での周知や HP 掲載に盛り込むかなどについては、検討中である。

○ 内野委員

- ・ シティプラザについて、[資料 2] の P16「久留米シティプラザ自主事業」と、P26「久留米シティプラザ普及啓発事業」で同じ事業名が見えるが、それぞれ別々に予算化されているのか。

● 事務局

- ・ 自主事業の中に、さらに普及啓発事業としても位置付けているものがある。ここでは、事業の性格で分けて整理をしているが、予算については、それぞれの事業で費用を積み上げて予算化している。自主事業の事業が、普及啓発事業にも再掲されているという意味であり、異なる事業が別々に記載されている訳ではない。

○ 曾山委員

- ・ 3 つ質問がある。まず「芸術家等派遣事業」の課題に、馬頭琴の希望が多く、他の分野と比べて

偏りがあると記載されているが、こうした偏りが生じない工夫はされているのか。2 つ目は、「芸術奨励賞」について。既存の文化団体からの推薦の順送りではないかという印象があるが、市外の九産大などへアプローチしないと、先細りをするのではないか。以前はあった海外研修補助金がなくなるなど、賞金も減っていると聞いた。こうしたことも、応募のモチベーションを下げることになっていないか。3 つ目は、「青木繁旧居の管理・運営」について。指定管理者の在り方を、今後どう考えているのか。また、今年 10 月に久留米市美術館で開催予定の、青木繁と坂本繁二郎の企画展とのリンクは何か考えられているのか。

● 事務局

- ・ 「芸術家等派遣事業」は、小学校の国語の授業で「スーホの白い馬」が取り上げられていることから、馬頭琴を希望する学校が多い。事業の実施を学校へ案内する際に、他の文化芸術分野のメニューも紹介しているほか、第 3 希望まで希望を聞いた中から、馬頭琴の実施が 1 校に連続しないようになど、調整させてもらっている。
- ・ 「芸術奨励賞」については、ご指摘の意見などもふまえ、募集要項などの見直しをさせていただいているところ。今後は、若手育成・支援の面から、そうした年代の方の応募が増えるよう、取組んでいきたいと考えている。
- ・ 「青木繁旧居の管理・運営」については、開館以降、地元の旧居保存会を指定管理者として、長年運営いただいている。今後、保存会のメンバーの高齢化など管理運営上の課題が出ることがあれば、保存会と検討していきたい。美術館のトラックヤード工事完了後に開催する青木繁と坂本繁二郎の企画展は、久留米ゆかりの二人の画家を取り上げたものであるため、青木繁旧居、坂本繁二郎生家と連携した PR などの企画を、これから検討していく予定。

○ 西依委員

- ・ P7「音楽によるまちづくりの推進」について。今後は、街かど音楽祭は開催しないのか。シティプラザのみを会場として、音楽事業をやっていくのか。また、シティプラザの大道芸は続けるのか。

● 事務局

- ・ 街かど音楽祭については、近年のコロナ禍で集客型の屋外イベントの実施が難しくなったこともあり、ライブチャレンジへ融合する形で見直しをした。ステップⅠ～Ⅲと計画しており、ステップⅢのメジャーミュージシャンを招聘したコンサートの実施に、街かど音楽祭の要素を残している。「久留米たまがる大道芸」は今後も実施する予定。

(2) 令和 4 年度市政アンケートモニター「くるモニ」の調査項目について

- 事務局より資料 3、4 に基づき、令和 4 年度の市民アンケートモニター「くるモニ」の調査項目案について説明。

質疑

特になし

○ 木藤会長

- ・ コロナ禍でメディアの形態が様々に展開し、その書き方に事務局も苦慮したと思う。

6 その他

○ 内野副会長

- ・ シティプラザの会場予約は、申込期限を変えられないのか。締切の後でも、会場に空きがあれば予約を受け付けてもらえるとか、対応してもらおうといいのでは。

● 事務局

- ・ 現在は、3 か月前までに申込としているが、他にも同様のご意見をいただいております、申込の締切については、今後柔軟な対応を検討したい。

■ 次回の審議会開催に係る日程等について連絡

7 閉会

○ 木藤会長

- ・ 閉会の挨拶

以上